

春季 営農 座談会 資料

令和6年1月 JAみい

1. あいさつ

5. 園芸振興方針について (P 5～P 6)

2. JA事業報告 (P 1)

6. 農産物買取販売強化について (P 7)

3. 持続可能な地域農業を確立する取組について (P 2)

7. 生産資材関係について (P 8)

4. 米を取り巻く環境および新品種大豆について

(P 3～P 4)

8. その他

座談会資料が必要な方は各支店・事業所に備え付けておりますので、お気軽に
お声かけ下さい。また、JAみいのホームページにも掲載する予定です。

【JAみいホームページアドレス】※「農のこと」に掲載しております
<https://www.ja-mii.com>

主要事業概況表

令和6年1月31日現在 (単位:千円)

事業所名	正組合員数	貯金残高			貸出金残高			長期共済保有高(万円)			購買品供給高			販売品販売高		
		1月末計画	1月末実績	達成率	1月末計画	1月末実績	達成率	令和5年度 期首保有額	1月末保有高	期首対比	1月末計画	1月末実績	達成率	前年同月実績	1月末実績	前年対比
小郡中央支店	1,540	29,976,000	30,316,653	101.1%	4,838,450	4,700,941	97.2%	7,981,550	7,647,694	95.82%	8,963	30,291	338.0%	1,070,615	1,511,189	141.2%
北野中央支店	1,334	24,200,000	24,345,717	100.6%	3,965,668	3,922,443	98.9%	8,044,056	7,705,200	95.79%	8,730	19,893	227.9%	4,021,727	4,376,026	108.8%
大刀洗中央支店	1,344	23,321,000	23,836,467	102.2%	2,501,004	2,360,126	94.4%	6,793,985	6,524,102	96.03%	7,281	18,085	248.4%	800,797	1,033,005	129.0%
本店・営農センター		772,000	762,829	98.8%	865,238	898,537	103.8%							48	48	99.5%
農機燃料センター											628,900	631,565	100.4%			
ライスショップ												1,291				
経済センター											1,729,800	1,754,450	101.4%			
経済部											2,400	8,570	357.1%			
合計	4,218	78,269,000	79,261,666	101.3%	12,170,360	11,882,047	97.6%	22,819,591	21,876,996	95.87%	2,386,074	2,464,145	103.3%	5,893,187	6,920,267	117.4%

【持続可能な地域農業を確立する取組み】

1. 令和6年度 経営所得安定対策について

- 対象者：担い手農家(認定農業者、集落営農、認定新規就農者)
内 容：I 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)
II 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)
III 水田活用の直接支払交付金(販売農家)

① 令和6年産の水稻作付について

令和6年産も県と地域の水田協議会が中心となり、水稻の過剰作付を無くし需要量と価格安定を図るために作付目標をお知らせします。

[水稻作付率](参考)

	令和6年産	令和5年産	令和4年産	令和3年産
北野町	44.43%	45.85%	44.54%	45.14%
小郡市	49.8%	49.8%	50.0%	50.2%
大刀洗町	55.3%	54.4%	54.0%	54.1%

2. 農業経営等に関する取組み

- ① 集落営農組織・個別経営体の法人化支援
農地中間管理事業の活用、法人化に関する研修会を開催致します。
② 新規就農者支援
農地・栽培品目・資金・補助金等の相談支援をJAと関係機関が連携し行います。

3. TAC活動について

「地域農業の担い手」に日々出向き、その「担い手」の声・要望を収集しJAにつなぐことにより、JAグループの事業に反映させ担い手の要望に応えていきます。またTACを中心とした部門連係の力で課題解決や利用者の満足度を向上させ、地域農業の維持・発展に取り組んでいきます。

4. 国・県等の補助事業活用について

- ① 産地基盤パワーアップ事業(国)
地域一丸となって収益力強化に取り組む産地に対し、計画策定経費、計画の実現に必要な農業機械のリース導入や集出荷施設の整備に係る経費等をすべての農作物を対象として総合的に支援する事業です。
対象者：農業者・農業者団体等

対象施設等:パイプハウス ※農業機械導入についてはリースになります。
補助率：1/2

令和5年度実績 北野地区9件 小郡地区1件 大刀洗地区0件 管内計10件

② 活力ある高収益型園芸産地育成事業(県)

福岡県園芸農業の持続的な発展を図るために、先進技術の導入や省力機械・施設等の生産条件の整備を進め、収益性が高く活力ある園芸産地を育成する事業です。

対象者：農業者・農業者団体等

対象施設等:パイプハウス・管理機・播種機・堆肥散布機・野菜保冷庫他

補助率：1/2または1/3

令和5年度実績 北野地区27件 小郡地区4件 大刀洗地区3件 管内計34件

5. 労災(労働者災害補償制度)について

JAみいでは事業主及び家族従事者が加入できる労災保険の特別加入制度の労災組合(特定農作業従事者・指定農業機械作業従事者)があり、組合を通じての加入ができます。特別加入制度とは、労働者以外の方のうち、業務の実態や、災害の発生状況からみて、労働者に準じて保護することがふさわしいと見なされる人に労災保険に特別に加入することを認めている制度です。

① 特定農作業従事者(年間販売額300万円以上又は経営面積2ha以上の方が加入できます)

- I トラクター等の農業機械を使用する作業
II 2m以上の高所での作業
III サイロ等の酸欠危険のある作業 IV 農薬散布 V 牛・馬・豚に接触する作業

② 指定農業機械作業従事者(指定された機械を使用し農作業を行う方が加入できます)

動力耕転機その他農業用トラクター・動力溝堀機・自走式田植機・自走式防除用機・自走式動力刈取機・自走式収穫用機械・トラック、自走式運搬用機械・動力脱穀機や動力草刈機などの定置式または携帯式機械・無人航空機

お問い合わせ先

JAみい 営農センター	営農企画課	TEL	78-3037
北野中央支店	営農経済課	TEL	78-3799
小郡中央支店	営農経済課	TEL	72-1000
大刀洗中央支店	営農経済課	TEL	77-0045

【令和5年産米を取り巻く環境について】

1. 令和5年産米をめぐる状況について

農産物である米は、その作柄や品質に気候の影響を大きく受けます。記録的な猛暑で育った令和5年産米には、「高温障害」の影響が如実に表れています。猛暑が続くと各地で高温障害が発生し、乳白粒などの白未熟粒の混入が増える傾向にあり、米の等級や品質の低下を招きます。

では、「高温障害」とはどのような状況をいうのか、ということですが、夜間の気温が25℃を下回らず、高い温度で推移し、日中に蓄積したデンプンが呼吸により消費されてしまうことを指して「高温障害」といいます。すなわち、日中にたくさんの陽ざしを浴びて光合成によりデンプンを蓄えても、夜間の気温が高く推移すると呼吸で消費されてしまい、充実した米が収穫できることになります。

●表1 令和5年産 全国の水稻うるち玄米の等級別比率

等級 年 産	検査数量 (千トン)	等級別比率 (%)			
		1等	2等	3等	規格外
5年産	3,821.30	61.3	30.3	7	1.5
4年産	3,878.90	78.6	18	2.2	1.3
3年産	4,110.30	83.1	14.4	1.4	1.1

●表2 令和5年産 各県の水稻うるち玄米等級別検査数量 (単位: トン、%)

県別	検査数量				等級比率				
	総計	1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
福岡	60,201	13,245	42,186	2,863	1,907	22	70.1	4.8	3.2
【参考】									
佐賀	44,054	30,682	11,980	529	862	69.6	27.2	1.2	2
熊本	65,144	21,198	38,852	3,351	1,742	32.5	59.6	5.1	2.7
新潟	407,227	63,543	191,931	139,846	11,907	15.6	47.1	34.3	2.9

●表3 令和5年産 福岡県の水稻うるち玄米銘柄別検査数量 (単位: トン、%)

品種	総計	等級比率			
		1等	2等	3等	規格外
夢つくし	31,025	9.4	83.4	6.2	1
元気つくし	10,797	68.9	28.1	2.1	0.8
ヒノヒカリ	12,500	12.1	83.9	3.2	0.9
実りつくし	808	62.7	36.1	-	1.3

重要害虫：イネカメムシ

近年、県北部を中心に水稻の収量・品質の低下要因となっている害虫です。県下で発生量が年々多くなっているため注意が必要です。



発生地域拡大中！



1. イネカメムシの生態

- 体長12~13mm
- 国内で越冬する
- 他のカメムシより加害時期が早い
- 水稻の出穗前後に水田へ飛来し、産卵・増殖する
- 水稻の株元に隠れており、穂へあがって穂の基部のみを加害する

2. 防除

①出穂2週間前までに畦畔除草を行う！(雑草はカメムシの隠れ家)

②『出穂期』+『出穂後7日』の2回防除

粒剤、豆つぶを使用される場合は、出穂5日前には散布しましょう。

2. 水稻への影響

イネカメムシが水稻を加害する時期で被害が異なり、収量・品質を低下させます。

加害時期	被 告
出穂期	不稔穂の発生
穂割り期以降	斑点米の発生

久留米普及指導センター作成

ふくよかまる

品種名「ちくしB5号」

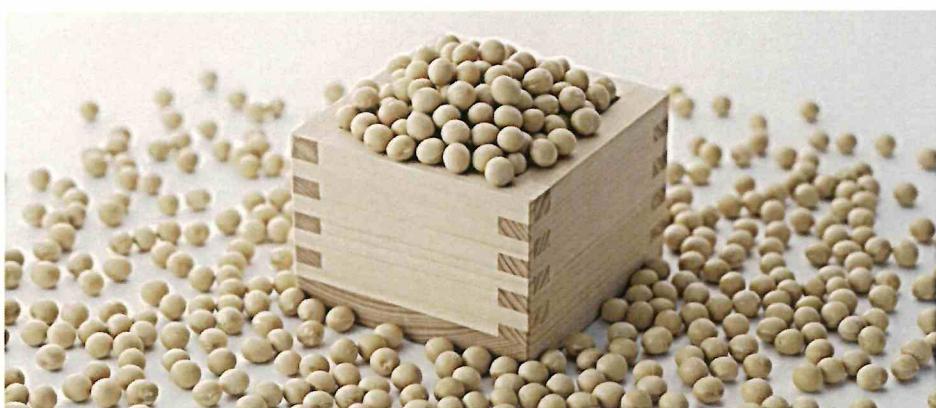
～「ふくよかまる」名前の由来～

大豆が大きく元気に「ふくよか」に育ち、皆様に「福」を届けたいとの思いと、大豆の「まるい」形を表したもの

ふくよかまる(品種名:ちくしB5号)の特徴 /

「フクユタカ」と比較して

- 播種適期が7月1日～20日と広い
- 成熟期が2日程度早い
- 草丈がやや低く、倒伏に強い
- 粒は大きく、収量は8%多い
- 最下着莢高が高く、収穫ロスは少ない
- 早播しても青立ち、倒伏が少ない
- 大豆本来の「甘み、コク」が強い



栽培のポイント

1. フクユタカより早播できる

① 県北は6月下旬から、県南は7月上旬から播種が可能。

② 播種適期内の7月20日までに播種する。

③ 播種時期に合わせた播種量を設定

播種震度	播種期	条間(cm) × 株間(cm)	播種量(kg/10a)	播種数(粒/m ²)	1条1m
					目標出芽本数
	7月上旬	70 × 20~25	3.4~4.3	11~14	8~10
	7月中旬	70 × 15~20	4.3~5.7	14~19	10~13
	7月下旬	70 × 10~15	5.7~9.0	19~29	13~15

④ 早播きは雑草が多くなるため、雑草防除を徹底。

2. 梅雨明け後は暗きよを閉じて、乾燥害を回避

3. 成熟期がフクユタカより早いため、早めに荷受け計画

ふくよかまる(品種名:ちくしB5号)作付計画

年度	作付面積(ha)	新たに導入するJA名
R4	789	むなかた、たがわ
R5	4,000	柳川、筑前あさくら、筑紫、にじ、ふくおか八女、北九
R6	6,000	みい、くるめ、福岡大城、みなみ筑後
R7	全面積	糸島、みづま、直鞍、ふくおか嘉穂、福岡京築



ちくしB5号 フクユタカ

「ふくよかまる」で単収200kg/10a
(県平均)を目指しましょう!!

【園芸振興方針】

秋冬野菜の販売環境は、暖冬により前進出荷となり豊作基調で潤沢な出荷が続き野菜全般に供給過剰となり自給バランスの崩れや、野菜以外の物価上昇に伴う購買意欲の低下など農業を取り巻く環境は好転しているとは言えない状況です。

また、賃金や物価上昇による生産コスト・物流コスト等の上昇圧力の吸収に向けた生産性向上対策が急務となっています。

現在の情勢を踏まえて、JA出荷のメリットを最大限打ち出して、これからも生産者の所得向上に努めるための販売強化を行って行きます。

その販売方法の一つとして直販事業を推進し、生産基盤の確立と農業生産の維持拡大に努めます。

1) 未来へつなぐ生産基盤の確立と農業生産の維持拡大

- (1) 実需者ニーズに対応した農産物への生産誘導
- (2) 新技術による農業生産の効率化およびデジタル化への取り組み
- (3) 環境負荷軽減に向けた農業生産の取り組み
- (4) あらゆる環境変化に対応できる生産体制の確立

2) 部会への加入推進

JAみいは、部会や研究会等への加入や新規品目の野菜販売を推進しています。尚、部会や研究会等への加入には、いくつかの要件がありますので詳しくは、園芸流通センター、大刀洗集荷場 までお問い合わせください。

【園芸流通センター所属部会】

部会、研究会	申込期限	要件	その他	安定基金
サニ一部会	5月末	加入金、負担金、作付面積、他	7月の総会で決定	○
ロメインレタス部会	5月末	加入金、負担金、他	7月の総会で決定	○
ちんげんさい部会	12月末	加入金、負担金、他	2月の総会で決定	×
水菜部会	随時	加入金、負担金、他	臨時総会で決定	○
小松菜部会	12月末	加入金、負担金、他	3月総会で決定	○
春菊部会	12月末	加入金、負担金、他	3月末会議で決定	○
青果ほうれん草部会	5月末	加入金、負担金、他	8月の総会で決定	○
ニラ部会	1月末	加入金、負担金、他	4月の総会で決定	○
ブロッコリー部会	5月末	加入金、負担金、他	8月の総会で決定	×
スイートコーン部会	11月末	加入金、負担金、他	8月の総会で決定	×
オクラ・菜花部会	11月末	加入金、負担金、他	6月の総会で決定	×
ズッキーニ研究会	11月末	加入金、負担金、他	8月の総会で決定	×
ルッコラ研究会	3月末	加入金、負担金、他	6月の総会で決定	×
空芯菜研究会	随時	加入金、負担金、他	臨時総会で決定	×
モロヘイヤ研究会	随時	加入金、負担金、他	臨時総会で決定	×
博多小ネギ部会	3月末	加入金、負担金、他	4月の総会で決定	○

【 大刀洗集荷場所属部会 】

部会、研究会	申込期限	要件	その他	安定基金
大刀洗レタス部会	6月	加入金、負担金、他品種、品質の統一	7月の総会で決定	○
大刀洗リーフ部会	6月	加入金、負担金、他品種、品質の統一	7月の総会で決定	○
大刀洗ほうれん草部会	6月	加入金、負担金、他品種、品質の統一	7月の総会で決定	×
大刀洗中国野菜部会	6月	加入金、負担金、他品種、品質の統一	7月の総会で決定	×
大刀洗ナバナ・オクラ部会	オクラ5月 ナバナ10月	加入金、負担金、他品種、品質の統一	7月の総会で決定	×
夏野菜部会	3月	加入金、負担金、他品種、品質の統一	4月の総会で決定	×

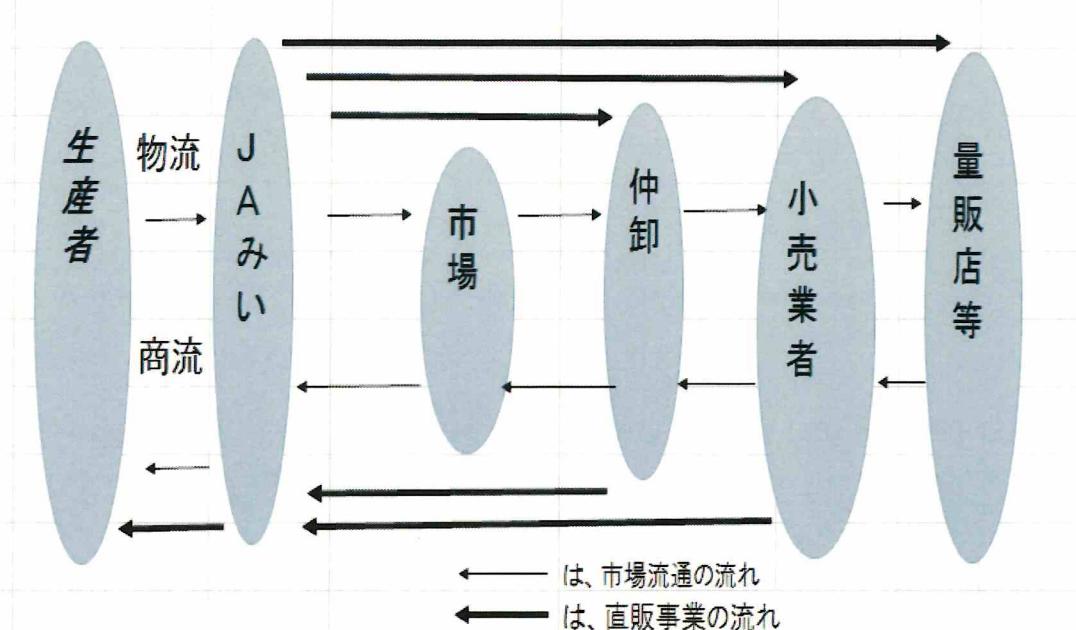
※各部会別に協議会費有り。各部会申し合わせ事項、大刀洗共撰共販協議会規約に準じる

【 花卉関係部会 】

部会、研究会	申込期限	要件	その他	安定基金
切花部会	随時 基本は4月末	加入金、負担金、他	5月総会にて決定 ★施設栽培 (トルコギキョウ、ラナンキュラス他) ★露地栽培 (ヒマワリ、小菊、テッポウユリ他)	×
鉢物研究会	随時 基本は6月末	加入金、負担金、他	7月総会にて決定	×

※部会内に研究会有り、各研究会ごとに負担金有り。

直販流通の流れ詳細図



○上記のように、直販事業は市場を通じて販売をしない分の手数料率が減少し
生産者の手取りが多くなります。

$$\text{市場手数料} 8.5\% - \text{直販手数料} 5\% = \text{差 } 3.5\%$$

お問合せ先

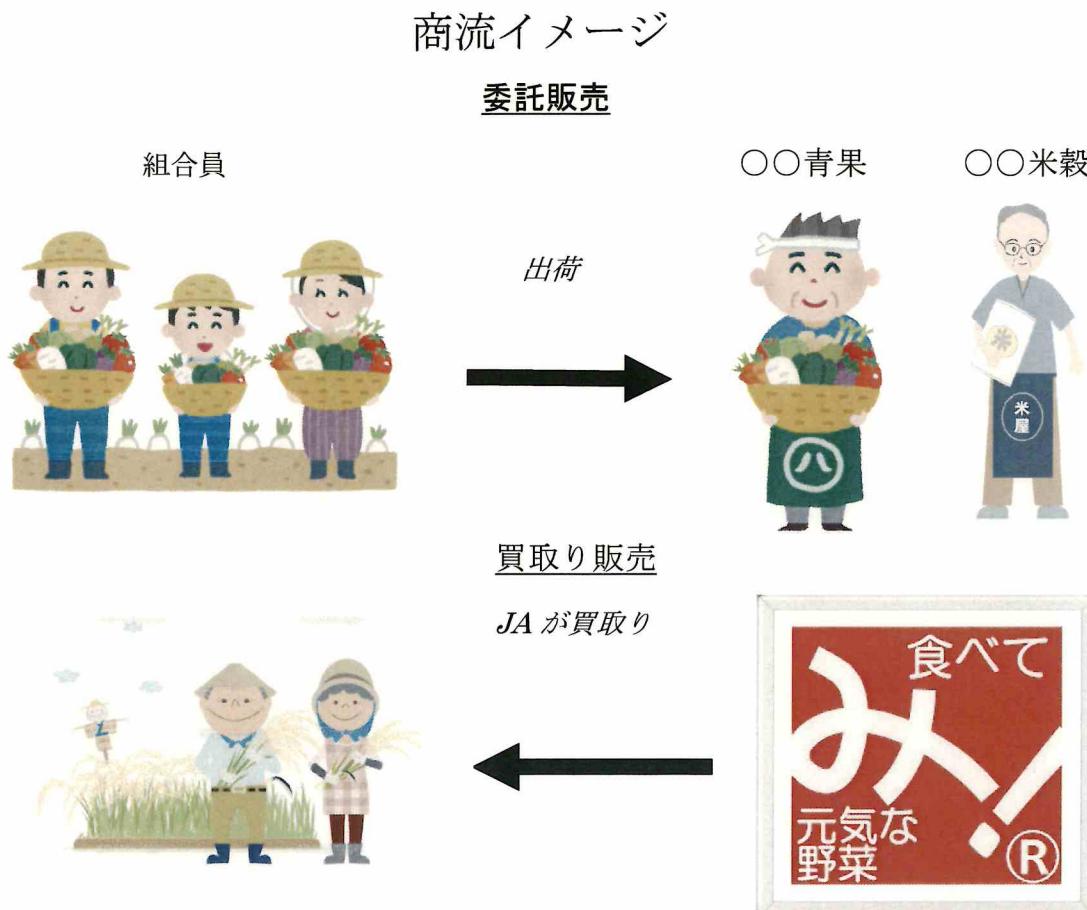
園芸流通センター
大刀洗集荷場
営農センター

電話 23-1710 (主に北野、小郡地区)
電話 77-0700 (主に大刀洗地区・花卉)
電話 78-3039 (経理、精算総合事務)

販売促進課の取り組みについて

「販売促進課」について紹介いたします。この課は、原則として組合員が生産された農産物（野菜、米等）を買取り、それを販売（買取販売）する課です。買取り販売とは、JAと出荷生産者が数量、単価、品目、品質、出荷時期等を話し合い JAがその農産物を組合員から買取りそれをJAが販売することをいいます。但し、生産履歴等の記帳や品物の確認ができるものとします。

また、米販売については、多様な消費者・実需者ニーズに応える販売方式を構築し、福岡県内・国内の販路拡大に向けて取り組んでいきます。



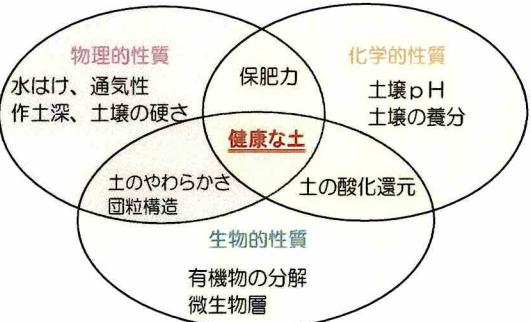
土づくりには良質堆肥がいちばん！

～良質堆肥を使った土づくりのすすめ～

○ 良い土とは

安定して品質の良い作物を作るには、良い土が必要です。良い土とは、右図のように物理的性質、化学的性質、生物的性質のバランスが取れた土壤のことをいいます。

良い土を作るには、堆肥の施用が効果的です。



○ 堆肥の種類

堆肥は種類によって効果が異なるため、上手な使いわけが必要です。下表は堆肥の効果と特徴を示しています。

表1. 堆肥の効果と特徴

堆肥の種類	土壤改善効果		肥料的効果	特徴
	物理性改善※1	化学性改善※2		
牛ふん堆肥	中	中	小	肥料成分は穏やかに効きます。有機物が土壤に残り、土壤改良に効果的です。
豚ふん堆肥	小	中	中	肥料的性質は鶏ふんと牛ふんの中間で、分解も速く効果が期待できます。土壤改良効果は長続きしません。
乾燥・発酵鶏ふん	小	中	大	分解が速く、肥料的性質が強い資材です。一方、土壤改良効果はほとんど期待できません。
パーク堆肥	大	小	極小	樹皮を主原料としたもので、土壤改良効果が長続きします。肥料的効果はさほど期待できません。

※1. 土が軟らかくなり保水力が増す ※2. 養分の保持力が増し肥料の持ちが良くなる

○ 良質堆肥の見極め方

色は良質な堆肥ほど黒っぽく、触感は強く握っても手のひらにつかず、わずかにカビ臭がします。発酵が進んでいない堆肥は、アンモニア臭や悪臭がするものがありますので、このような堆肥は更に発酵させてから使いましょう。

※ 堆肥には肥料成分も含まれますので、大量に投入した場合、土壤中に加里などが過剰に蓄積し、土壤や作物に悪影響を与えることがあります。右表は堆肥の現物あたりの成分含有率を示しています。堆肥施用前には土壤診断を実施するとともに、これらの値を考慮して施肥設計を行いましょう。

表2. 堆肥の成分含有率(現物あたり%)

		窒素	リン酸	加里
牛	乳牛	0.8	0.8	1.1
	副資材あり	1.9	3.9	1.9
豚	副資材なし	3.3	5.3	2.3
	採卵鶏	2.8	5.8	2.9
鶏	ブロイラー	2.2	3.5	2.5

生産資材課

被覆肥料の被膜殻の流出防止対策

○被覆肥料は、施肥量の削減や省力化につながるなどのメリットがありますが
被膜殻が河川に流れ出す可能性があります
正しい使い方をして、流出防止に留意しましょう！

○防止対策

- ①入水までに田面の高低差をなくす
- ②浅水代掻きをして殻の浮上を抑える
- ③田植え前の落水はおこなわず、自然落水とする



- ④水尻にネットなどを設置する
- ⑤畦畔管理：あぜが崩れていないかを確認する



対策に関連して令和7年度から

プラスチックを削減・環境にやさしくなった

新被覆肥料「Jコート」を使用！

被膜の「崩壊性」を大幅に改良！



指でつまむ
→



Jコート(施肥後約1年経過品)

ラオウ1キ口粒剤 除草剤

○安全性に定評のあるフェンキノトリオンとダイムロンを配合した
低成本除草剤です！

○**田植同時処理**も可能です！

○WCS、飼料用米にも使用可能です！



適用雑草及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回※	田植同時散布機で施用
	移植直後～ ノビエ 2.5葉期 但し、移植後 30日まで	ノビエ 2.5葉期 但し、移植後 30日まで			
直播水稻	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稻 1葉期～ ノビエ 2.5葉期 但し、収穫 90日前まで	1kg	1回※	湛水散布

※各有効成分を含む農薬の総使用回数：ダイムロン 3回以内（移植水稻：育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内）・2回以内（直播水稻）、フェノキサスルホン 2回以内。

フェンキノトリオン 2回以内、ベンスルフロンメチル 2回以内